



評議員会

平成29年度第2回評議員会を開催

2月20日、平成29年度第2回評議員会を開催しました。

開催にあたり井戸支部長から「今年4月から診療報酬と介護報酬が改定されます。県内の赤十字病院は地域医療の担い手としての役割を果たしていくことが期待されている。また、現在、兵庫医科大学に設置されている兵庫さい帯血バンクは、日赤兵庫支部の庁舎への移転が決定し、兵庫県も支援していく。皆様の健康を守る活動を続けていくためにも、今後も変わらぬご支援ご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。そして、平成29年度の事業進捗状況報告に続き、平成30年度事業計画と歳入歳出予算について審議が行われ、承認されました。



井戸支部長の挨拶



血液事業

みんなでいっしょにTeens献血!

少子高齢社会の中で、輸血医療を支え続けていくためには、10代のうちから献血へ継続的にご協力いただくことが必要です。

そこで、10代の方が献血にお越しいただききっかけづくりとして、2月1日～3月31日まで「みんなでいっしょにTeens献血!」を呼びかけています。その間に献血にご協力いただいた10代の方、10代の方と一緒にご協力いただいた方には記念としてプレゼントもご用意しています。

ぜひこの機会に、ご家族やお友達と一緒に献血にお越しください。

実施期間 平成30年3月31日(土)まで

実施場所 兵庫県内の全献血会場(献血ルーム・献血バス)

お待ちしております!



救急法ミニ講習会イベントを開催しました

昨年9月にオープンしたイオンモール神戸南店(神戸市兵庫区)にご協力いただき、2月12日に心肺蘇生法とAEDの使い方のミニ講習会を開催しました。78人の方に体験いただき、参加者からは「何度も繰り返してやらないと忘れちゃうね」などの感想や、「講習を受けるために予習してきました」とおっしゃるお子さんもおられ、活気あふれる会場となりました。



講習のご案内

救急法基礎 (1日受講)	救急法救急員養成講習 (2日間受講)	救急法基礎・救急員養成講習 (3日間受講)
4/21(土) 13:00~17:30 5/3(土) 13:00~17:00	5/19(土)・20(日) 9:30~17:30	5/4(金)・5(土)・6(日) 9:30~17:30(初日は13:00~)
水上安全法救助員養成講習I(4日間受講)	健康生活支援講習支援員養成講習(2日間受講)	
4/28(土)、5/4(金)・5(土)・6(日) 9:00~17:00(最終日のみ~14:00)	5/12(土)・13(日) 9:30~16:30(最終日は~17:10)	

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

赤十字 兵庫 検索

ひょうごの赤十字



2018.3月
March



インドネシア 地域住民への防災活動の普及を目指して



赤十字ボランティアのスキルアップを目指し
平成29年度兵庫県青少年赤十字研究会
平成29年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第3学期)
平成29年度第2回評議員会を開催
みんなでいっしょにTeens献血!
救急法ミニ講習会イベントを開催しました
講習のご案内

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



インドネシア 地域住民への防災活動の普及を目指して

インドネシアは、世界有数の災害多発国と言われています。2004年(平成16年)に発生したインドネシア西部のスマトラ島沖地震・津波はインド洋沿岸地域で死者・行方不明者総数が22万人以上という甚大な被害をもたらしました。同じ災害リスクを共有する日本とインドネシア。お互いの知見と経験をいかして、地震と津波などの災害から命を守るため、2012年(平成24年)から日本赤十字社はインドネシア赤十字社とともに、インドネシアにおけるコミュニティー防災事業に取り組んでいます。

1月17日～27日、兵庫県支部の重森彩花主事がインドネシアのコミュニティー防災の現地視察に訪れました。



地震と津波に対する コミュニティー防災とは?

住民が活動の中心となって身の周りのリスクを再認識し、解決策に取り組み、災害に対応できる知識と能力を身につける一連の活動を通して、住民の災害からの回復力(災害のインパクトを軽減し、適切に対応し、逆境から立ち上がる力)を向上させることを目標としています。

重森彩花主事による現地視察報告



私が視察してきたベンクル州という地域はインドネシア西部スマトラ島西岸に位置しています。車両での移動中、景色を眺めると、村が海岸の目の前にあり、また海沿いに植えているココナツの木もまばらで、津波が来ると村全体が被害を受けることが予想できました。日赤はインドネシア赤十字社とともに、2016年(平成28年)より地震と津波に特化した防災事業を支援しています。本事業は育成された地域ボランティアにより、防災意識を村の住民に普及させたり、地域のリスクマップを作成したりと、住民が中心となって災害に対応できる知識と能力を身につけることを目標としています。住民にとって重要な事業ですが、地域行政からは資金援助が得られにくいのが現状です。この視察を通し、日赤の支援が現地の人々に還元されていることを改めて認識

できました。また滞在中には、兵庫県支部として阪神・淡路大震災での教訓を現地赤十字職員や大学生にお話させていただきました。今後も事業を通して同じ災害多発国である日本の経験を共有し、より災害に強い国となることを願っています。



赤十字ボランティアのスキルアップを目指し

赤十字ボランティア

2月3日、兵庫県支部において、平成29年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催しました。今回の研修会は、防災ボランティアリーダー・サブリーダー7人が中心となり特別奉仕団員23人、一般登録防災ボランティア5人が、無線通信、搬送、三角巾を使ったきずの手当(包帯法)の研修を行いました。三角巾を使った包帯法では、初めて受講された方から「三角巾が様々な固定に使用できることを楽しく学ぶことが出来た」等の感想をいただきました。

本研修会は年2回定期的に開催しており、受講者からは全体を通して「定期的に研修が行われるので、防災に対する意識づけに良い機会となっています。実践研修ですので家に帰ってからも復習し、役立てるようになりたいと思います」とのお声をいただきました。



包帯法を実践するボランティア



青少年赤十字

平成29年度兵庫県青少年赤十字研究会

兵庫県支部では、さらなる青少年赤十字の理解と推進を図ることを目的に毎年、研究推進校を設けています。県内の青少年赤十字加盟校から応募を募り、研究推進校として指定された学校は、赤十字の定めた研究主題の中からテーマを決め、1年を通して実践します。平成29年度は6校を指定し、1月28日に兵庫県支部にて開催した青少年赤十字研究会でその成果を発表しました。詳しくは支部ホームページに掲載しました「研究会報告書」をご覧ください。



小学生による発表

防災紙芝居を
外国語で発表!



研究推進校	研究テーマ
芦屋市立精道小学校	阪神淡路大震災を語り継ぐ
宝塚市立未成小学校	学校・家庭・地域の連携を基盤にした、安心・安全、みんなに優しいまちづくり
西脇市立黒田庄中学校	「健やかでうるわしく 和やかでよく働く 自力で成し遂げる」生徒の育成
猪名川町立六瀬中学校	「共創的な対話が生み出す、つながる地域 そして、みんなの地球」 ～ふるさとから学び、ふるさとに貢献し、国際社会で活躍できる人材を育成する～
兵庫県立鳴尾高等学校	奉仕・国際理解～地域・世界の一員として～
兵庫県立柏原高等学校	①丹波市在住のニューカマー外国人の日本人社会への親近感・信頼感を高める活動 ②市民の防災意識を向上させる活動 ③柏原市街地の観光バリアフリーマップの作成

平成29年度兵庫県中学校高等学校 青少年赤十字協議会例会(第3学期)

今年度の活動テーマを「健康・安全」として取り組んできた兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会が、2月4日に今年度最後の例会を開催し、青少年赤十字加盟校から48人が参加しました。

本例会では、「地域において出会う高齢者への声掛け、歩行介助ができる技術と態度を身につける」ことをテーマに、杖歩行介助および車いす介助について、



グループで意見交換

湊川短期大学から来ていただいた講師の先生方に指導いただきました。介助する際のコミュニケーションの取り方や、周囲の人への安全に対する気配りなども含めて実習をした後、グループごとに振り返りと発表を行いました。参加者からは、「相手の気持ちを考え、耳を傾けることが大切」「今日はたくさんのお話を学べたので、これからはよりよい介助ができそう」といった感想が聞かれました。それぞれの地域での実践を期待しています。



車いす介助を実習する様子

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。